



ベルリン東洋美術館所蔵の絵巻「熙代勝覧」

文化2年（1805年）頃の神田今川橋から日本橋までの大通りの繁栄を描いている。この絵巻に普請中の木屋幸七商店を含め、4軒の木屋が並んで描かれている。右端の木屋の暖簾は現在の木屋が商標としている井筒木の紋入りで、暖簾分けを許されて約10年後の木屋と思われる。

## 駒場時代の思い出

加藤 欣也（駒26）

東京都中央区日本橋室町に本店を構える刃物の老舗（株）木屋の九代目当主、加藤欣也さんに駒場高校時代の思い出を中心にご寄稿いただきました。

「木屋」は寛政4年（1792年）の創業で、昨年220周年を迎えました。



第92号

2013年4月1日発行

一般財団法人  
駒場松桜会  
都立駒場高校同窓会  
〒153-0044  
目黒区大橋2-18-1  
都立駒場高校内

TEL/FAX

03-3466-7579  
(毎月曜日の活動日  
以外は留守番電話)

携帯電話からも住  
所変更ができます。



住所変更専用  
QRコード

2012年3月、隣の芸術高校最後の卒業式に出席するため久し振りに駒場を訪れた。芸術

高校の2階から眺める駒場のグラウンド。右手に見える校舎の配置、少し狭まつた奥には幼稚園がある。何も変わっていない

よう見える。ここで一杯声を出し、ボールを追いかけ、打ち、走り、文字通り一所懸命だった私、と野球部の仲間たち。

同級生は昭和30年から31年生まれ、団塊の世代より一時代遅れてきた世代。

三島由紀夫の自決がテレビのニュースで大きく取上げられていた受験前。駒場へ入学すると学生運動の名残か、上級生数人と先生が中庭で深刻な話し合いをしているのを目撃。大学へ入れば民青かどこかの勧誘が地味に行われていた。フォークソングは反戦歌から、神田川のラブソングへ、そして、ニューミュージックへと変わつていった。高

度成長からオイルショック、成長から着地、一休み。祭りの後始末世代。働き盛りは昭和から平成へ変わるバブル期。空白の10年を後始末の実行部隊として矢面に立つ。次いでリーマンショックに続き、あの大地震か

ら現在までは責任者として、私的に言えば経営者としての決断を日々迫られる。

1973年7月、市営府中球場が野球部主将として最後の舞台になった。相手は同じ都立の高校だった。夏の甲子園を目指す東京都予選実質一回戦。延長10回2対4で負けた。頭を抱えて2塁ベースのところでうずくまつっていた。

卒業アルバムには野球部をと

らは見事に壇上の吉岡のクラブに納まつた。その後、1年生の各クラスを巡り、新入部員の勧誘を行つた。その甲斐あって、私たち2年生3人を含め総勢10人を越える部員を確保することができた。

野球センス抜群の後輩もいた、肩の弱い後輩もいた。2年秋、新人戦に惨敗した後、冬場は徹底的に走つた。タイヤも引つ張つた。そして迎えた、夏の大会だった。今思ひ返しても悔しい、悔いの残る試合だった。それでも後輩たちが奮起して、翌年、都予選が東西に分かれた初めての大会でベスト16まで進んでくれた。しかも敗れた相手はその年初めて甲子園までいった私立高校だったと記憶する。さらにその次の年もベスト16まで勝ち進んでくれた。

卒業してから40年近くの歳月が流れたのに、目覚める思い出はキラキラしている。一瞬一瞬が美しい。



前列左より 吉岡・関口・大越・瀬川・加藤  
後列左より 小澤・末松・牧瀬・新納  
顧問の先生方

もに支えた旧友・球友、吉岡・大越、マネージャーの関口・瀬川の5人が載っている。同期が僅か5人、しかも男子3人の野球部だった。野球部存続のため新一年生へのクラブ紹介、ユニフォームを着てのパフォーマンス

行方知らずの友がいる、後ろの席。先に逝つてしまつた友の筆しててくれた友のいる、教室。が美しくなつた友のいる、昼休み。手を骨折したとき、ノートを代僕もいる。自転車に乗つた途端立ち木に激突した友もいる、帰り道。マージャンを教えてくれた友のいる、土曜日午後。一緒に

に道玄坂上まで昼飯を食べに行つた友、体育の時間。テニスを楽しんでいる憧れの女子のいる、中庭。初戦で敗れたことを今でも人生で一番悔しい思い出と語る球友のいる、グラウンド。ホームルーム、遠くを見つめ、少し考えてから丁寧に応えてくれる先生。

数学の授業 この気持ちわからず 入ってきて少しこニコして生徒に媚を賣ることもなく、ただひたすらに難しい数式を板書する先生。朗読すると美しい声の先生。西暦1868年の世界状況を説明してくれた先生も。夏合宿、よく冷えたスイカを差し入れしてくれた先生も。現国・英語などなど、今思えばそれぞれ個性のある先生方が担当されて、伸びやかな授業風景

だつた。  
一人に一つずつの物語が  
続いている。幸いにも私の  
人生も続いている。

私のその後は、野球少年から文学青年への自己変革を試みるが、失敗。大学卒業後、三越に就職。接客の基本を学ぶ。私の兄たちが家業の継承を拒んだため、

急遽、木屋へ入社。商品開発に始まり、営業、総務人事、経理財務、全てを引き

受けながら、百貨店との取引拡大を推進。社長就任後、  
2010年10月、日本橋室



本店正面玄關

町東地区開発計画の実施に伴う  
新本店の移転リニューアルオープ  
ン、2012年4月、木更津  
に初のアウトレット出店を敢  
行。両親を30代で続けて亡くし  
てからの四半世紀は本当にあつ  
という間だった。まだまだ、迷  
うことばかりで人に伝えるべき  
言葉など出てこない。もつと努  
力しなければといつも思つてしま  
う。

改めて文章にすると、思い浮  
かぶ一つ一つの事柄、会話や言  
葉に愛おしくなるような切なく  
なるような感情が湧いてくる。  
あの時駒場に、駒場生の僕が確  
かにいたのだ、と。今日まで走つ  
てこられたのは、そんな駒場時  
代があつたからかな、と。そし  
て、今も走り続けている。

最後に、歴史ある会報誌に寄

改めて文章にすると、思い浮かぶ一つ一つの事柄、会話や言葉に愛おしくなるような切なくなるような感情が湧いてくる。あの時駒場に、駒場生の僕が確かにいたのだ、と。今日まで走つてこられたのは、そんな駒場時代があつたからかな、と。そして、今も走り続けている。

稿してくれないかという依頼をいただき、人生の一時に過去を振り返り、今の自分を見つめる機会をいただけたことを大変ありがとうございました。また、心より御礼申し上げます。

この場を借りて駒場高校野球部を支えてくださる全ての方々に御礼申し上げます。現役の駒場生には、大きな「悔い」を残せと、エールを送ります。



プロフィール

1955年4月生まれ  
1971年3月 目黒区立第一中学校卒業  
1974年3月 都立駒場高校卒業  
1980年3月 学習院大学文学部ドイツ文学科卒業  
　　4月 株三越入社 三越本店勤務  
1984年3月 株木屋入社  
1992年11月 取締役副社長就任  
2009年8月 代表取締役社長就任  
　　木屋九代 当主となる

谷田 優美  
「駒場に入つて良かつた」と、心から感じることができます。勉強面では、何度質問しても先生は優しく教えてください、とても感謝しています。都駒祭では、ホームの繋がりが強くなりました。その上、2年生か

入学したての頃は、サッカーチームから練習が始まり、夕練で終わる学校生活と帰宅してからの授業の予習・復習に毎日取り組む忙しい生活に慣れていくことがとても大変でした。その毎日の生活の中で辛いこともあります。が、友達や先生方、家族の支えがあったからこそ乗り越え、成長することができたと思います。心から感謝の気持で一杯です。

それから、体育祭・都駒祭などの学校行事は、ホームの皆が部活と勉強に毎日一生懸命取り組む大変な中で、協力し合い、どれも楽しい、最高の思い出となりました。

駒場高校で得た友情や思い出を大切にし、大学でも一生懸命取り組む姿勢を忘れず、成長していきます。



駒  
65  
—  
2

佐藤 拓人



駒65—保体

この少ない字数では書ききれない  
駒場での思い出と駒場で得たものを  
胸に、さらなる向上心をもって、充  
実した大学生活を送りたいと思いま  
す。

ら参加した書道パフォーマンスでは、ホーム、学年、部活動が異なるメンバーで、限られた時間の中、本番では最高のパフォーマンスができました。部活動では、中学生のころは敵でありながら尊敬していた先輩とペアを組むこともでき、良い思い出がたくさんできました。また、自分が目標とされる存在になつていればいい

専攻だけでなくクラス・駒65保健体育科にもたくさんの思い出があります。遠泳・スキー・キャンプ実習そして毎年行われる実技発表会と一年一年の年月を重ねることに絆が深まっていったことが感じられました。そしてこの絆はこの先もつながっていきます。

あつていう間に卒業を迎えるということは、充実していたという証だと思います。駒場で過ごした日々は私のこれから的人生の大きな糧になると思います。これからも目標を持ち、前を向いて歩くことを忘れず頑張つていきたいです。

一、駒場での「服のお茶」

昭和三十三年板橋区立第四中学校にいた私は長坂勝校長から都立駒場高校への誘いを受けた。その時の条件は「一点「既婚者であること、野球部の顧問を担当」で、それを引き受けた。校舎はもと騎兵隊の跡地だったが、学校の雰囲気は旧第三の面影が濃く残っていた。まず、職員室に入つて席に座った時給仕の子にお茶を「服戴いたのが今でも心に残っている。思い出としては「コチロン」と「野球の試合」であった。毎週日曜日は子守もかねて息子を連れてグランドへ通つた。全く野球を知らない顧問だった。佐原君をはじめ多くのOB達には苦労を掛けたと思う。六十年の教員生活の中で飛躍のための充電と転換期の三十代であったように思われる。

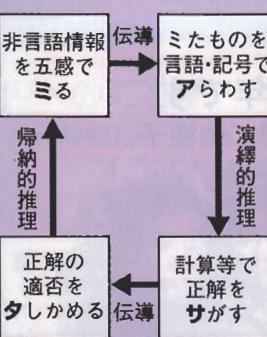
## 二、「予測のための中等数学」

五十年代で都立駒場、四十五八年まで教駒で高等教育に携わり、受験Ⅱ数学教育以外の道を模索した思い出がある。受験勉強は暗記の知識で解決法をアラわし、計算して解決への道をサがす。このアーサーの訓練は演繹的思考力を育成し、社会制度の維持に活用されている。ところが、今回の震災以後の日

本社会は「今まで通り」が成り立たないことは明らかになり、この転換期を改革する人材育成のための数学教育を東京理科大学において「予測のための中等数学」(全5巻)として出版した。

三、「生涯数学」のすすめ

少子高齢化時代到来で、全く未知な環境をよくみて、予測した結果を下す「自立して、冷静な判断」を下す実を測る数学が「今までとは」異なる推論を可能とする。



少子高齢化時代到来で、全く未知な環境をよくみて、予測した結果を下す「自立して、冷静な判断」を下す実を測る数学が「今までとは」異なる推論を可能とする。

## 三十代の青春



**略歴（戦後）**

- 1928年6月1日生まれ。敗戦日本の復興は「数学教育」と立志、現在に至る。
- 20代は小・中学校、30代は都立駒場高校、40～58歳まで筑波大駒場中高、58歳以降東京理科大学数学科を80歳で引退。
- 東京理科大学数学教育研究会の協力で「予測のための中等数学」(全5巻)完成、現在「生涯数学」を目指している。

長野 東（数学科）

## 第三時代に得た終生の教え—生きる自覚と覚悟

高鳥 トシ子 (第三45)



戦争の時代に同窓生となった私達は、入学が一緒でも卒業の形と年は多岐に亘るという変則的な別れをした仲間である。太平洋戦争が始まった翌年の昭和17年4月に入学し、3年になって学徒動員の一員として軍需工場で働いたことを除いては、敵性言語といわれた英語の授業も普通に行われ、コチロンも楽しく踊ることができ、軍事色の強くない気風の中で少女時代を送った。しかし、昭和20年5月の空襲で校舎が焼かれ、8月には敗戦となった。

このような時代背景の中で、私は動員中に体を壊し1年休学した後、入学時が1年後の方と一緒に卒業した。そこで二つの学年に同級生がいることになる。クラス会は両方からお声がかかるのでよろこんで双方に出掛けるが、学校の扱いでは私の籍は卒業時を基準に昭和23

年3月卒業の第三45回東級で登録されているようである。新制の駒場高校に移行するまで、第三高女のままで卒業した方、高等科、専攻科に進まれた方など様々である。その場に身を置いた私でも、今考えると極めて錯綜した学制の改革に途惑う程で、当時の混乱が思い浮かぶ。私自身は、入学から1年遅れで旧制の第三高女を卒業し、外部の専門学校に入学、1年が終了したところで、前年から発足していた新制の男女共学の大学に入学し直した。これで6・3・3・4の新制のコースに乗ったわけである。

区立の小学校を終え、当時府立の女学校であった第三高女に入学して、同じ公立の学校とは思えない、雰囲気の違いに驚いた。目もまばゆいきら星達の集まりであった。小学校では思いもしなかった復習の必要という事実にも直面した。知識量をふやし理解力を補うことは、努力により容易に達成できるとしても、根本的には集まつた人達の素質の豊かさが圧倒的であった。読書量の多さ、日常的に音楽、美術など美しいものに触れる事のできる環境の影響もあって、きら星達は個性豊かで、十歳を過ぎたばかりの少女ながらみんな大人だった。

私は後年大学で教員生活を送ることになったが、人は平等とはいえ、同じではなかった。学問する者にとって必須の素質は豊かな個性であり、これを持つか持たないかは努力の量だけでは乗り越えられない高みであることを知らされた。このような自覚を得る端緒となった第三高女の時代は、私の人生にとってかけがえのないものでありながら、この素質を持たないという思いが自信のかげらさえ打ち砕いてしまう程の惨めさも味わわせてくれた。幼い私がちょっと大人になる出発点であった。まばゆい友が持っていた豊かな個性を身につけるなどほとんど不能な目標であるが、この目標に向かって諦めずに生きる勇気を与え続けてくれるのも友である。勇気を持ってこの道を進むことは、歳を重ねても少しも変わるものではない。

プロフィール	
1948年4月	東京女子高等師範学校理科入學
1949年3月	1年終了
1953年3月	慶應義塾大学法学部法律学科入學
4月	卒業
1955年3月	同大学大学院修士課程民事法学専攻に進學
4月	修士課程修了
1966年4月	教授就任
1986年3月	退職
1986年4月	※大学時代、民法、国際私法を専攻、講義を担当し、論文を発表してきたが、著書にまで結実しなかつた。退職後は研究から遠ざかり、日本刺繡・長唄・日本舞踊など稽古事を始め、和の生活を楽しんでいる。

25年6月1日(土)  
時30分～  
13時～15時30分  
0円  
卒・未成年2,000円  
会員(駒65)は無料です  
支払いいただけますが、混  
ので、会報に同封の振込用  
ただけますと助かります。  
ご招待になります。

## 会場：スクワール麹町 3階「錦華」

東京都千代田区麹町6-6  
TEL 03-3234-8739

### ○交通

JR「四谷駅」より徒歩2分  
東京メトロ 丸の内線 南北線「四谷駅」  
より徒歩2分  
東京メトロ 有楽町線「麹町駅」より徒歩6分

## 速報！ ご出席予定の先生方 (50音順)

小川 碧 先生(英語)、小澤 猛 先生(数学)  
小野 啓一先生(物理)、小泉 晴一先生(校長)  
佐治 恒孝先生(保育)、佐藤 光一先生(保育)  
平島 満 先生(保育)、堀江 節 先生(保育)  
(現在も順次お伺い中です)



## 駒45 駒45のみなさま、幹事学年です 篠木 麻貴子・櫻田 由樹子(駒45)

みなさま、お久しぶり！

卒業時3ホーム元8、駒フィルだったしのぎと同じく3ホーム元4、茶道部だったこうごです。

元気にアラフォーライフを満喫していますか？

なんと今年、わたしたちは駒場卒業からもう20年が経つのだそう！

仕事に、家事に、子育てに…と、多忙な毎日をお過ごしのことと思いますが、久しぶりに集まって、近況を伝えあったりしませんか？

多感な10代を過ごした駒場時代の日々を懐かしく思い出しながら、日常から離れ楽しい時間を一緒に過ごしましょう！

まずは、今すぐ、6月1日(土)の午後から半日、予定を空けておけるようスマホ・携帯・手帳にスケジュール登録をお願いします!!



「同期の集い」を同期会の場にご利用なさいませんか？

## 2年度 駒場松桜会コンサート

色づく初冬の12月1日(土)、サイタルホールに友部裕子さんで駒場松桜会コンサートが開催

ンドピアノだけがセットされ、共に、観客一同は友部さんの登

ご自身のクラシックからシャンカの様に、20世紀初頭のピーラ「ホテル」の2曲のクラシックス語で豊かな声量で歌い上げ

にピッタリの誰もが知る「枯葉」、に曲を付けた遠く離れた恋人の「フランシコの六枚の枯葉」、「ユ美しき変身」等に続き、エディッズ歌まで一気にステージは続

では、曲の背景説明だけでは無校時代のセーラー服への拘りの(服装自由の中で、何と3年間られたと！)。

休憩を挟んだ第二部では紫のドレスから白いドレスに着替えられ、戦前から親しまれている歌曲に続き、耳にお馴染みのラテン風の「バラ色の桜と白いリンゴの花」では、会場の皆さんを高校時代に引き戻してしまう、軽妙なパフォーマンスを演じられました。

クリスマスを真近に控え、キリスト生誕前夜を描く「ベツレヘムへの旅」、素晴らしい声量に魅了されたシャルル・アズナブルの「アヴェ・マリア」、スタジオジブリの「紅の豚」の挿入歌にもなった「さくらんぼの実る頃」とあっという間にステージは進み、ラストの「懐かしのヴィオロン」では会場の皆さんとの手拍子に。

アンコールではアップテンポなバージョンでの「魅惑のワルツ」と、大拍手の中ステージはお開きとなりました。

ご来場の皆さんには素敵な笑顔と暖かくなれたハートを胸に、寒さを忘れて家路につかれたことと思います。



## 都駒祭参加報告

2012年  
9月16・17日

今回も仰光寮を一般公開し467名がご来場、203号教室ではロンドン五輪の号外(駒6羽島知之氏提供)を展示してお休み処を設置し、来場者が1330名もありました。

仰光寮では「松桜会美術展」を企画。かな手本源氏物語精選歌集より昭和を代表する書作家の作品10点、及び松桜会会員のかな小品6点を1階和室に展示しました。松桜会で創立百周年を記念して公開講座が始まり、中でも源氏物語に関する講座は計3回実施し(講師:元本校教諭、栗屋不二子先生)好評だったことを受けた企画で、富田玲子氏(駒16)にご尽力頂きました。

17日には五大陸前の広場で恒例のコチロン披露も華やかに行いました。



# 「同窓の集い」今年は四谷で開催！ 沖縄太鼓もあるよ！

今年の駒場松桜会「同窓の集い」は会場を昨年までの「グランドアーク半蔵門」から、四谷駅前の「スクワール麹町」に移して開催されます。「駒場エミナース」で3年、「グランドアーク半蔵門」で3年、それぞれに良さがあり素晴らしい会場でした。「スクワール麹町」もきっと印象に残る会場となるでしょう。最大の利点は交通至便です。JR・東京メトロ四谷駅「麹町口」の目前です。新しい企画として若い同窓生による沖縄太鼓の演奏を組み入れました。さあ、皆さん!! 今年は四谷に全員集合しましょう。

今年度の幹事学年は駒25、35、45回です。ご協力、ご支援をお願いいたします。

## 駒25 「駒場高校同窓の集い」へのご案内 田中 周一 (駒25)

駒25の卒業生の皆様こんにちは、旧3年8ホーの田中周一です。私がたまたま駒場松桜会の「同窓の集い」の打ち合わせに出席したところ、駒25が幹事学年で、何の因果か駒25の幹事ということになりました。ということで、きたる6月1日(土)に開催される「府立第三高女・都立駒場高校同窓の集い」のご案内をさせていただきます。

私たちが1973年に駒場を卒業してから早いものでこの3月で40年がたちます。前回の学年合同の同窓会からも5年が過ぎようとしています。今回の「同窓の集い」には古くは戦前の第三高女の先輩から、この3月に駒場を卒業したての駒65の後輩の諸君まで幅広い年代の卒業生が出席します。もちろん、先生方も出席されます。ぜひこの機会に同学年だけでなく、世代を超えた交流の場としてこの「同窓の集い」にご出席ください。それでは、6月1日に「同窓の集い」で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。



## 駒35 駒35の皆様、こんにちは 時乘 浩一郎 (駒35)

今回駒35の学年幹事をやらせていただることになりました時乗です。

卒業して早30年。人生を折り返しした感も否めない我々としては、自分のルーツ、青春〈今は青春の真ん中位(笑)〉を見つめ直すことで、これから的人生をより豊かなものにしませんか。きっとそこで会う懐かしい顔や、さらには新しい出会いの中から、わからなかった自分が見えたり、また、この先の人生のヒントがあるかも知れません。お忙しいとは思いますが、きっと損はしないと思います。多くの同窓生に逢えるのを楽しみにしております。



### ●コチロン合宿のお知らせ

日時 2013年10月8日 (火)  
～9日 (水)

場所 国立女性教育会館  
(0493-62-6723)

### ●コチロンを踊る会

会場 生徒ホール  
(変更の場合は掲示します)

日時 4、5、6、7月  
毎週第3火曜日  
月1回土曜日  
午後2時～4時



コチロン合宿 (2012年10月2日)

### ●第14回コチロン合宿報告

恒例になった秋のコチロン合宿は2012年10月2日～3日、第三から駒24まで24名の同窓生が参加しました。宿舎の国立女性教育会館は武藏野の大自然の中にあり、台風の翌日で枝葉が落ち、体育館までの小道を皆注意しながら歩きました。

夜の会食後のミーティングではお元気な先輩方の語る姿に感銘を受け、コチロン継承を模索する態度に思いを託すなど、一泊することでコチロンを通して縦つながりを感じる合宿でした。

### 次回『松桜会コンサート』 のお知らせ

2013年11月30日(土) 14時から東京オペラシティリサイタルホールで平倉信行、田嶺道生(駒29)両氏によるギターデュオ『ドゥーズ・コレド』のリサイタルを予定しています。

どうぞご期待ください。



201

街の木々が紅葉 東京オペラシティ(駒22)をお迎えされました。

ステージにはグラ伴奏の上條泉さんと場を待ちました。

第一部にてまずはソングへの変遷を表すシングル作曲の「愛の小クソウ」を原語のフラン西語で歌いました。

続いて、この季節フランスの詩人の詩想いを描いた「サンリエット・グレコの「ト・ピアフの「愛の小クソウ」を原語のフラン西語で歌いました。

また、曲の合い間に、ご自身の駒場高楽しいエピソードもセーラー服を着続け

## 医療のいまどき情報

## いまどき何故、血管か?

市來正隆 (駒 22)

〈プロフィール〉  
東北大学医学部卒業  
JR仙台病院病院長  
血管診療センター長



(昨年の盛夏、偶然通りかかった40年ぶりの母校正門前で)

杜の都仙台に寓居を構えて40年。血管外科医として甲羅を経てきたつもりです。診療の中心となるのが大動脈瘤や閉塞性動脈硬化症などの動脈硬化性疾患です。「ひとは血管とともに老いる」という言葉がありますが、血管が老いるとは動脈硬化が進行するということに他なりません。しかし「ひとは加齢とともに皆一様に血管が老いる」ということではありません。「格差」という言葉がマス・メディアでよく取り上げられますが、医療界にも精神的、肉体的な健康格差があります。幼年時代はほとんどない健康格差は子供よりも青年、そして成人と年を重ねるにつれて拡大します。男性は50歳代、女性は閉経後の60歳代に顕著に現れます。この健康格差が健康寿命に大きく影響します。健康寿命を延ばすということは、年をとっても精神的にも肉体的にも生活の質を落とさないようにすることです。この健康寿命に一番関わるのが、まさに動脈硬化です。動脈硬化になると血管が傷み、心臓や脳、腎臓、そして足までもが障害を受け、著しく日常生活に支障を生じます。結果的に健康格差が広がることになります。病気になって生きるか死ぬかは昔からの当然の最大の関心事ですが、今はびんびんした生活を送れることも希求されています。

動脈硬化の最上流にあるのは喫煙習慣、食習慣、運動習慣の揺らぎです。その揺らぎが増幅して重合して高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を併発します。そして何十年後には動脈硬化として血管を蝕むことになります。ひとつひとつは小さな雲であっても、ひとたび川を下りはじめると静かに大河の渦流へと成長し、いつの間にか動脈硬化症という荒れた大海原に行き着くイメージです。この大海原で私は仕事をしてきた訳ですが、動脈硬化疾患は「座して待つ」疾患ではないと血管外科医は痛感するのです。

今日、日本人の3人に1人は悪性腫瘍で亡くなりますが、脳血管障害や心筋梗塞などの動脈硬化性疾患でも同じ割合で命を落とします。悪性腫瘍と違うのは動脈硬化性疾患になりやすい人が明らかのことです。それは喫煙(ニコチン中毒)、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの動脈硬化の危険因子を持っている人たちです。これらの生活習慣病を治療する最大の目的は動脈硬化にならないようにすることです。これらの専門医と称する医師は多数いますが、実際はどれだけの医師が受け持ち患者の動脈の状態を把握しているのでしょうか。どれだけの患者が現在の自分の動脈がどのような状態か知っているのでしょうか。例えば、糖尿病において同じヘモグロビンA1c値の患者で



も動脈硬化の進行度によって、心筋梗塞や脳梗塞、腎障害の発症リスクが違うのは容易に想像できます。当然のことながら糖尿病の治療や管理も異なってくるはずです。脂質や高血圧でも同じことが言えます。

近年は血管検査法が著しく進歩し、頸動脈エコー検査や四肢血圧脈波測定、血管内皮機能検査などで外来でも動脈硬化の評価が簡便にできるようになっています。乳がんや胃がんなどの個別の臓器のがん検診も重要ですが、より効率的な血管検診の受診を是非、お勧めします。「年齢より血管がしなやかな人は見た目も気持ちも若い」ということも判ります。血管は駒場松桜会皆様の卒後の生活の履歴をはっきりと物語っています。

都支部にお入りになりませんか。2013年も10月の始めに例会をお预定しています。関西地区にお住まいの会員の皆さん、どうぞ幅広い活躍を続けていらしゃいます。

などをして楽しんだり、現役の書道先生、地元ラジオ局に出演などをおこなっています。

などがつく方々も、ピアノ、コレラス、ハーモニカ、テニス、俳句、謡曲、カントリーミュージックなど、生かしてくださっています。

一方、卒業年度に「東」「南」など、自分がつく方々も、ピアノ、コレラス、ハーモニカ、テニス、俳句、謡曲、カントリーミュージックなど、生かしてくださっています。



昨年秋の同窓会は、京都らしい木屋町の路地に入った奥の割烹料理店で開きました。写真は鴨川の上に張り出したこの店の

●京都支部

駒場松桜会  
地方支部から  
11

## 母校生徒の活躍

(1月31日現在)

- ・全国高校総体（インターハイ） 東京都予選 都ベスト16
  - ・東京都高校総体兼全国高校総体 予選 都ベスト32
  - ◎女子バレー部
  - ・全国高校サッカー部 東京都予選Aブロック ベスト16
  - ◎柔道部
  - ・第62回東京都高等学校学年別男子団体2学年の部ベスト8、女子個人のべ4名が5位まで入賞
  - ◎剣道部
  - ・全国高等学校剣道大会（インターハイ） 東京都予選 女子団体都ベスト16
  - ◎陸上競技部
  - ・第64回東京都高等学校新人陸上競技対校選手権大会 2種目延べ3名 関東選抜新人大会出場決定
  - ・2013日本ジュニア室内陸上競技大阪大会 女子60mハードル 参加標準記録突破により全国大会出場決定
  - ◎水泳部
  - ・JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会東京都予選 7名（個人7種目、リレー1種目）全国大会標準タイム突破により第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳大会出場決定
  - ◎百人一首部
  - ・第19回関東地区高等学校かるた大会東京都代表選考会 4名の生徒が東京都代表チームの一員として関東大会出場決定
  - ・これからも母校生徒の応援よろしくお願いいたします！

駒14回生、卒業後、様々な人生  
を経て今年は古稀を迎えます。  
これを機会に相集い、大いに語  
り合つて昔を懐かしむと共に、50  
年の年月で培つた新たな魅力を確  
かめ合つて、次の一步を踏み出し  
ましょう。詳細は別紙案内状にて。  
なお、同期会は紫陽花会と合併し  
て行われます。

お二人の会員の方のお話、そして最後に懐かしい合唱曲をいくつか歌いました。今回が最後の予定でしたが、有志の方々が次回お世話を下さること。駒場高校の卒業生としての誇りと強い絆に感謝しながら、またの再会を楽しみに散会いたしました。

駒23還暦同期会

相沢佳子（駒4）

日 時 5月12日(日) 15時～19時  
会 場 アーリーズテラス外苑前  
会 費 7,000円  
ご案内状は送付済です。ぜひご  
参加下さい。 幹事 大谷久行  
090-3316-1339

昨年10月6日（土）、西新宿のハイアットリージェンシー東京に130余名が結集しました。ご臨席の安孫子先生よりご挨拶があり、欠席された清水・磯部吉田各先生のお元気なご様子が報告されました。

・JOCジュニアオリンピック夏季  
水泳競技大会東京都予選 7名

◆同期会の報告◆

1

(個人7種目、リレー1種目) 全国大会標準タイム突破により第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳大会出場決定  
・第19回関東地区高等学校かるた大会東京都代表選考会 4名の生徒が東京都代表チームの一員として関東大会出場決定

平成24年10月17日、新宿京王プラザホテルで同期会としては最後の集まりを開催いたしました。残念ながら先生方のご出席はかないませんでしたが、109名もの懐かしい顔、そして声が広い会場一杯に和やかな空気をかもしだして、歓談ははずみました。

上映のスライドを見るにつけ  
70年安保や月面着陸など、まさに  
「変革と動乱の時代」の高校生活  
だつたことを実感しました。

また偶然にも、戸山高校と会場  
が隣り合わせとなり、席を離れて  
交歓し合う場面もありました。

次回は4年後になりますので、  
お互い元気な姿でまたお会いしま  
しょう。

福田仁一（駒23）

**80歳以上の方の松桜会会費免除についてのお知らせ**

東日本大震災から2年 松櫻会は支援の輪を継続しております。

松桜会では昨年4月の会報90号にも掲載しましたが、各行事を通じて皆様から募金を集め、被災された方々を応援してきました。24年度は58,936円が集まり、被災地代表の仙台支部に送らせていただきました。今年度も引き続きこの義援の募金活動を続けてまいりますが、このほど仙台支部に口座が開設されました。今後は直接下記口座に「義援金」と明記の上、お振込みくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行：02290-3-44674 駒場松桜会仙台支部

075-882-0926  
佐藤久子までご連絡をお待ちし  
て い ま す。

佐藤 久子（駒5）

●香川県  
高陽高校卒業後、大学、教員

馬場高橋・美術科・文学科  
をへて郷里に帰り音楽活動をしております。香川県には駒場高校卒業生は本当に少なく、私も同窓会等はもっぱら東京へ出向いております。食べ物がおいしく、災害も少ない大変暮らしやすい香川県ですが、昨今のブームは何といっても「さぬきうどん」です。県外からうどんを食べに来られる方はどんどん増え、有名店は相当な行列です。

そんな中、瀬戸内の島々をもう一度見直し、そこにアートを取り入れ、島の特性をアピールしようという「瀬戸内国際芸術祭」が2010年から始まり、今年第2回が開かれます。すでに海外で有名になつた島もあり、「うどんだけじやないアート県」として世界から注目されています。我々音楽家も参加させて頂いております。

私が所属しております「公益社団法人瀬戸ファイルハーモニー交響楽団」では、駒場高校の卒業生で、指揮者の松岡究さん(駒場高28)を迎えて、一緒に取り組んでおります。

数少ない卒業生ですが、四国香川へのお越しの節はぜひお声をおかけ下さい。

私共は終戦の翌年、旧制度最後の学年として都立第三高女に入学、

二寄付者  
マリア・宮城・バートラフ様

ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

をおかけ下さい。  
宮崎 節二（駒17音楽科）

# 松桜会講座 のお知らせ(平成25年度上期)

4/15  
締切

対象者：駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員

申込方法：往復はがきに、次の内容を記入してください。

①講座名 ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④氏名

⑤会員—卒業年度 教職員—所属 PTA会員—お子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきには宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申込みください。

申込締切：4月15日(月) 申込先：〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 駒場松桜会事務局

## A 講座

講 師

長野 東

(元本校数学科教諭)

東京理科大学数学科を80歳で引退

東京理科大学数学教育研究会名誉会長

日本数学教育学会名誉会員

### 生涯数学よもやま話

東日本大震災以降、社会が前例のないような激動期を迎え、時代に対応できる世論形成も必要になってきました。今後の在り方を予測・判断する上で、数学が役立つことを紹介したいと思います。気楽にいろいろな話題を取り上げられるよう、講座名を「生涯数学よもやま話」としました。

第1回：転ばぬ先の杖とは？ 第2回：2度あることは  
第3回：クローズアップ現代を見て  
第4回：新聞記事「原発ゼロ」の読み方

定 員：30名

受講料：2,000円

会 場：東館 和室

13:30～15:00

5/11(土)・6/8(土)

6/22(土)・7/13(土)

## B 講座

講 師

荻原 千鶴(駒22)

お茶の水女子大学卒・同大

学院修了。上代文学会賞・

日本古典文学会賞を受賞。

上代文学会代表理事などを歴任。お茶の水女子大学教授。

### 『万葉集』を読む—挽歌の誕生—

現代の私たちが、1300年以上も前の『万葉集』に魅かれるのはなぜでしょうか。『古事記』『日本書紀』の歌謡や万葉初期の挽歌をとりあげ、映像資料を用いながら、その魅力の一端に迫ります。

第1回：万葉の時代  
第2回：『古事記』『日本書紀』の歌謡  
第3回：天智天皇への挽歌  
第4回：その後の展開

定 員：30名

受講料：2,000円

会 場：東館 和室

10:30～12:00

6/22(土)・6/29(土)

7/13(土)・7/20(土)

## C 講座

講 師

池端 寛(駒17)

青山学院大学物理学科卒業

1974年長野県小海町に穴窯を築く。

国際現代陶芸展(Italy)大

統領賞受賞 他数々受賞

毎年国内外にて個展開催

### 板作り(タタラ成型)による粘土成型

(焼成は長野県小海町の窯にて講師が行います)

私は主に、板作りという技法を使い作品を作っています。その板作りによる作品の紹介。そして、板状の粘土から湯のみ、マグ、花器、食器等の成型を行います。



定 員：20名

受講料：2,000円

教材費：4,000円

(焼成費・送料込み)

会 場：仰光寮1階

5/25(土)13:30～16:30

5/26(日)10:00～13:00

\*松桜会講座では、講師を募集しています。講座の趣旨に適任の方々のご推挙を、事務局までお寄せください。

## 受講生の声

**【石彫—軟らかい印材を彫る】を受講して**

昨年秋の会報、講座案内から、「講師金城靖子(駒16)」という見出し。在学時、選択科目「工芸」を教えて頑い金城先生に「是非お会いしたい」と思い立ち、同級生の三井剛郎氏と一緒に申し込む。

講座前は、「平面に彫るんだ」と勝手に想像。いざ講座初回、しかし：「ん？これは立体像！難しい！」6回では完成できそうもない」とやや意氣消沈。彫る前にまた金城先生から8種類の菩薩、如来等の「仏像」の細部デザインの詳細、その信仰思想背景についてレクチャー頂く。

と、先生のテクニック解説や、個別にアドバイスを受けながら現在まで5回経過、当初の諦め氣分が一転、次第に上り調子。(1回仕事で休み)この「彫り塾」とでも言いましょうか？無心になつて集中できる土曜朝の2時間が、貴重な一心のスイッチを入れ替えたくなりました。金城先生、また企画、運営頂いた皆様に深く感謝いたします。残り1回、しかし作品は

生まれのスロースターターネットから6割も進んでいません。

水野 良一(駒30)

誰もが避けて通れない人生のエンディング、まだ時間はあると思いつつも遺言の事や老後の事が気になりはじめていた矢先、松桜会会報で「身近な法律問題」の講座を知り、早速申し込みました。講師の齊金敏明先生は、私の想像していた法律家のイメージを払拭。語り口もソフトでユーモアに溢れた素敵なお先輩です。「遺言と相続」「任意後見制度」「近隣トラブル」等、難しい事柄を具体的な内容や注意点など、たくさんの実例を交えてわかりやすく説明して下さいました。誰にも聞けない疑問点や費用の事、ネットでは得られない知識も豊富にあり、時にご自身の話や大学の学生にわたり、講義がとても短く感じられる程毎回充実した時間を過ごさせていただきました。

今は無関係でも将来自分にふりかかるかもしれない様々な実例を聞くと、法律を知っている事の重要性を認識させられます。特に、「遺言は愛する人々への最後のラブレター」との先生のお言葉が強く印象に残りました。これから私も心を込めて書いておこうと思います。

先生、貴重なお時間を本当にありがとうございました。

小野(旧姓山田)美智子(駒24)

『身近な法律問題』を受講して